ガイドライン2005対応

自動体外式除細動器 AED

ライフパック CR Plus ¥299,250（税別¥285,000）

大切な命を迅速に救う、
軽量・コンパクトで扱いやすいモデル。

7つの特徴が、もしもの時に

1. 低ランニングコストで経済的

独自の電源システムや消耗品の価格設定により、コスト約1/2を実現します。

2. 豊富でお得な標準付属品

必要なものに加え、レスキューセットや使い方DVDも付属し大変お得です。

3. 丁寧な音声ガイドで操作は簡単

電源を入れるとわかりやすいアナウンスがあり、あわてることなく安心です。

4. 素早く効果的な除細動が可能

電極ケーブルは本体に接続していますので、すぐに電気ショックが可能です。

ガイドライン2005対応

自動体外式除細動器(AED)
ライフパックCR Plus

52072 ¥299,250(税別¥285,000)

Point! 低ランニングコスト CR Plusのランニングコストが圧倒的に安い理由

AEDにはメーカー・機種を問わず、必ず交換しなければならない消耗品として、電極とバッテリーがあります。

仮に5年間一度もAEDを使用しなかった場合、維持費用は一体どのくらいかかるのでしょうか。5年間未使用でも交換しなければならない消耗品は、メーカー・機種によって異なりますが、交換部品費用だけで約7〜10万円程必要です(電極が2回とバッテリーが1回です)。従来機種のバッテリーの使用期限は、製造日から5年と長く通電回数も200回以上使用できる大型バッテリーを搭載していました。

CR Plusは、使用頻度の比較的少ないと想定される施設向けに開発され、この維持費用を従来の約1/2に抑える経済性を備えています。

■メドトロニック社製AEDランニングコスト比較(5年間未使用時)

機種	LP500B	CR Plus
	バッテリー	交換キット(チャージパック)
交換時期	製造日から5年	製造日から2年又は使用都度
ショック回数	230回以上	最低20回(満充電時)
価格(税込)	¥50,925	¥18,900×2=¥37,800
	電極	交換キット(電極)
交換時期	製造日から2年又は使用都度	チャージパックの交換時又は使用都度
使用回数	1回(使い捨て)	1回(使い捨て)
価格(税込)	¥5,449×4=¥21,796※1	—※2
ランニングコスト合計	¥72,721	¥37,800

※1:LP500Bの場合、電極は5年間で4セットの交換が必要です。
※2:CR Plusの場合、交換キットにチャージパック1本と電極2セットが含まれています。

大切な命を守ります。

5. メンテナンスの管理も簡単

自己点検機能を備えており、
結果は内容ごとに絵で
表示され判断も容易です。

52071
交換用キット(チャージパック1本+クイックパック電極2セット)
￥18,900(税別￥18,000)

※チャージパックと電極は、1回使用後又は使用期限前
(製造日よりおよそ2年)に必ず交換してください

6. 高精度な体動検知システム

心電図を歪める動きは警告とともに
解析から自動除外、誤認識を防止します。

7. 二相性でエスカレーション

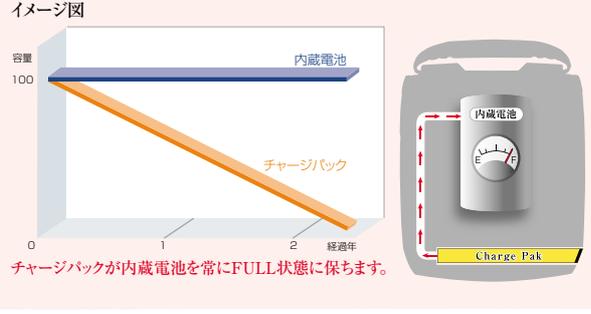
エネルギー量360Jまでの段階的出力機能を備え、
確実な除細動を実現します。

新しい発想とは…独自の電源方式

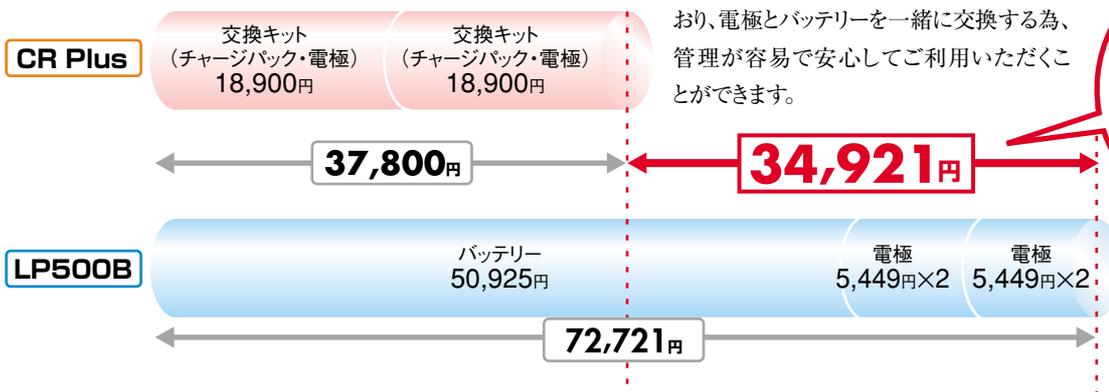
CR Plusの電源には充電式内蔵電池を使用しており、チャージパックと呼ばれる充電器は、この内蔵電池を充電する為に機能します。内蔵電池は除細動器を操作するための電力を供給し、チャージパックは内蔵電池へ充電を行います。チャージパックは内蔵電池へ電力を供給しつづけることにより、内蔵電池を約2年間満充電状態に保ちます(※未使用時)。

この方式を採用したことにより、従来の重くて大きなバッテリーを搭載する必要がなくなり、抜群のコストパフォーマンスを実現できたのです。またこの方式は、コスト面だけではなく管理面においても従来の煩雑さが解消されました。

イメージ図

チャージパックが内蔵電池を常にFULL状態に保ちます。

■5年間未使用時におけるランニングコスト比較

機種	内訳	合計
CR Plus	交換キット(チャージパック・電極)18,900円 + 交換キット(チャージパック・電極)18,900円	37,800円
LP500B	バッテリー 50,925円 + 電極 5,449円×2 + 電極 5,449円×2	72,721円

差額 34,921円

電極とバッテリーの有効期限が、どちらも製造日から2年(又は使用都度)となっており、電極とバッテリーを一緒に交換する為、管理が容易で安心してご利用いただくことができます。

維持費用が従来の ※約1/2

※5年間未使用の場合

豊富でお得なCR Plusの標準付属品。

●レスキューセット(CPRマスク付)

救命処置を行う際にベルトでも容易に切れる万能はさみをはじめ、体毛の濃い患者に対する確実な除細動を行うため体毛剃り用のカミソリ、救命時の感染予防に有効な手袋やCPR用のマスクなどを専用ポーチにセットしています。

- ●キャリングケース(肩ひも付)
- ●クイックパック電極(2セット)
- ●レスキューセット(CPR用マスク付)
- ●オリエンテーションDVD(1枚)、他

●CR Plusの使用方法がよくわかるDVD

救急現場におけるAED(CR Plus)の使用方法が、ドキュメントタッチで映像化され、どなたにもわかりやすく理解できます。

※CR Plusを使用中の救命動作(心電図他イベント等)は、本体へ記録され、専用ソフト(別売)をインストールしたパソコンを使ってレポートとして転送やプリントすることができます。

わかりやすい丁寧なアナウンスで操作は簡単。

1 電源を入れます

ON／OFFボタンを押せば自動的にフタが開きます。フタはバネ仕掛けになっており、使用中に誤って本体にぶつかっても、フタが閉じてしまうことはありません。

2 電極を取り出し、患者に貼り付けます

使用者に混乱なく操作していただくため、電極はあらかじめ本体に接続されています。

3 通電ボタンを押します

電気ショックが必要な場合は通電ボタンが赤く点滅します。電気ショックが必要ない場合は通電ボタンを押しても電気ショックが行われることはありません。

メンテナンスの管理も簡単。

日常のメンテナンスはインディケータを確認するだけ。
内蔵のセルフチェック機能により、現在の機械の状態をあらわすインディケータが点灯しています。
※毎日、目視にてインディケータが正常な表示である事をご確認ください。

ボタン操作やフタを開ける必要なく、バッテリー残量や要修理などすべての状態をひと目で確認できます。

キャリングケースを装着した状態でもインディケータが見えるため、
ケースに収納したまま、本体を取り出すことなく確認することができます。

※AEDケースについては P7

インディケータ

インディケータはトラブル内容が一目で分かる4種類

 正常サイン

 内蔵バッテリー残量少サイン
※最初に点灯時のバッテリー残量
…6回の通電可又は45分継続電源ONが可程度。

 チャージパック交換時期お知らせサイン

 要修理サイン
修理が必要です。
弊社または販売店へご連絡ください。

電極パッド使用期限

電極パッドの使用期限年月日が、透明な窓部分から確認できます。

チャージパックと電極は、一回使用後又は使用期限（製造よりおよそ2年）前に必ず交換してください。

※交換用キットについては P6

近くにいる人が、すぐに除細動を行える
最新テクノロジーを軽量コンパクトなボディに搭載。

SAS ショックアドバイザリーシステムを搭載。

心電図から除細動が必要かどうか判断するライフパック独自のアルゴリズムです。

除細動器のパイオニアだからできる精度の高さ。

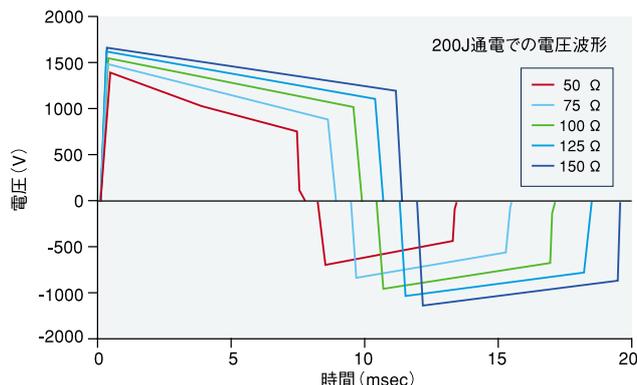
特許の体動検知システムを搭載しており、心電図を歪める動きを自動的に解析から除外します。また、正しい心電図の解析のため、体の動きがある場合は警告メッセージで告知し、誤認識を防ぐ高精度の判断ができるようになっています。

患者の状態（胸郭インピーダンス）に合わせて最適な波形を作り出します。

各相の継続時間、通電する電圧の両方を患者の胸郭インピーダンス（抵抗）に応じて最適化し除細動効果を高めます。

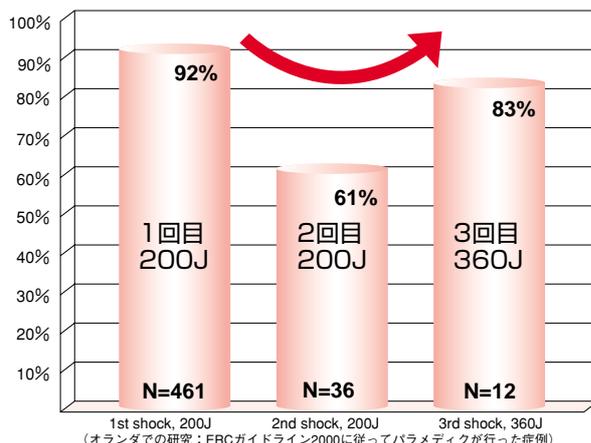
患者の身体に優しい、効果的なバイフェージックのエネルギーを200J・300J・360Jのエスカレーションで出力します。

CRプラスの通電時のピーク電流はADAPTIV Biphasic Technologyにより、300Jでも150Jと同程度に低く抑えられるため患者へのリスクも軽く安心です。

より低いピーク電流がリスクを低減

エネルギー量を上げられるAEDだからこそ、救命率の向上が見込めます！

二相性（バイフェージック）でジュール数を360Jまで上げることができるのはLIFEPAKだけです。下のグラフは、初回通電（200J）で成功しなかった場合に、同エネルギー（200J）で2回目の通電を行った時の成功率です。同エネルギーでは成功率が低下していることがわかりますが、3回目にエネルギー（360J）を上げたところ、時間が経過しているにも関わらず成功率が上昇しております。この結果からも2回目以降のエネルギーを上昇させる事が、いかに有効か証明されています。

オランダでの研究症例

（オランダでの研究：ERCガイドライン2000に従ってパラメディクが行った症例）

関連商品

CR Plus 消耗品・別売品

消耗品

■交換用キット（チャージパック1本+クイックパック電極2セット）
52071　￥18,900（税別 ￥18,000）

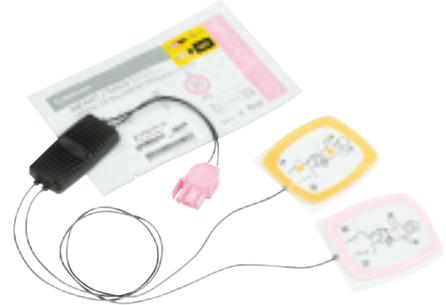
別売品

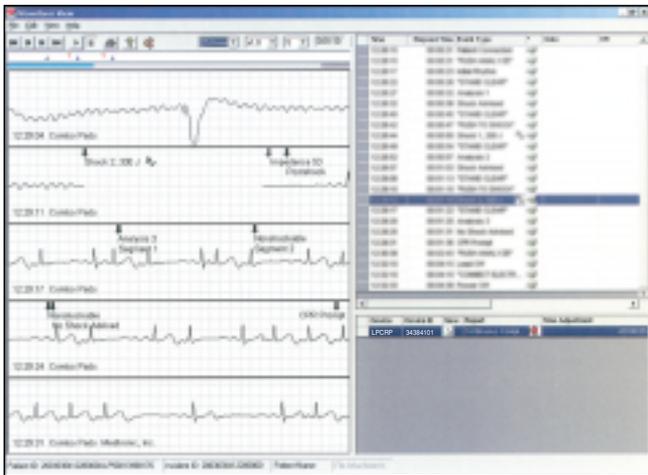
1歳以上8歳未満の小児に対するAED使用の場合は、エネルギー減衰機能を備えた小児用電極をご使用ください。
＊1歳未満の乳児に対してはAEDを使用しません。

使用方法表示の専用ポーチ入り
■小児用電極スタータキット
52121　￥26,250（税別 ￥25,000）
（キット内容）小児用電極専用ポーチ、クイック操作ガイド、交換用小児用電極×1、取扱説明書

別売品

■レスキューセット
46956　￥2,415（税別￥2,300）
※標準付属品のレスキューセットとは異なります。

別売品

■交換用小児用電極（1組）
52122　￥19,950（税別 ￥19,000）

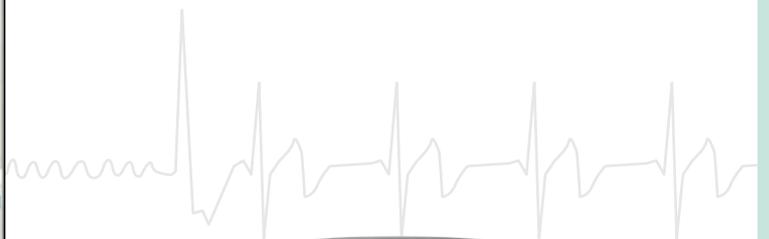
別売品

データレビューソフトウェア（PC画面例）

CR Plusに記録保存された救助イベント情報をPC画面上で確認、編集することができ、レポート印刷やデータ管理も容易です。　・ECG（心電図）他　・救助イベント情報等
■データレビューソフトウェア〈CODESTAT SUITE（英語版のみ）〉
￥178,500（税別 ￥170,000）

心電図（ECG）や救助イベント情報をダウンロード、転送、レポートを印刷できます。
■データ転送ソフトウェア〈DT Express 3.0（英語版のみ）〉
￥31,500（税別 ￥30,000）

動作基本条件（パソコン）

①システム条件
●Windows XP　●Windows 2000 Professional（SR2）
●Windows NT Workstation（SP6a）
②IrDA（赤外線ポート）付属のPC

その他詳細はお問い合わせください。

関連商品

AED収納ケースシリーズ

■AED収納ケース&スタンドセット
52106　AED-S
￥121,800（税別￥116,000）
●付属品：警報装置（本体取付済）90dB/m
AED設置表示パネル（スタンド取付済）
CPR手順説明パネル
設置管理者表示シール
※写真のAEDは付属しません。

■AED収納ケース（壁面設置用）
46957　AED-C
￥60,900（税別￥58,000）
●付属品：警報装置（本体取付済）90dB/m
壁面固定用ネジ・アンカー
AED設置表示パネル
CPR手順説明パネル
設置管理者表示シール
※写真のAEDは付属しません。

■AED設置表示パネル
（210×250mm両面印刷）
52108　￥1,050（税別￥1,000）

AED設置表示パネルを
壁面に固定するために
使用します。
※AED設置表示パネルは別売です。

■AED設置表示パネル壁面
固定用金具
52109　￥2,100（税別￥2,000）

両面印刷シールなので、
ガラス面に貼れば
表裏両側から確認できます。

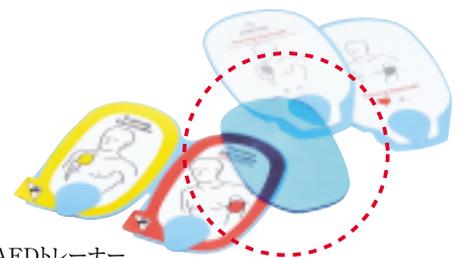
■AED設置表示ステッカー
5枚組（A5サイズ両面印刷）
52107　￥2,625（税別￥2,500）

AEDトレーナー

本物と同じ操作で
トレーニングが行えます。

訓練人形を汚さず、
繰り返し使用もでき安心。

■AEDトレーナー
52075　CR-T
￥78,750（税別￥75,000）

＜補充品＞
■AEDトレーナー（CR-T）
電極キット（電極5個と接続ケーブル）
52079
￥7,350（税別￥7,000）
■トレーニング電極パッド5（電極5組）
52077
￥4,200（税別￥4,000）

■AEDトレーナー
電極パッド専用粘着シート
52101　2組分（4枚1セット）￥4,725（税別￥4,500）
※本商品は模擬人体JAMY専用に開発されています。他の模擬人体へは絶対に使用しないでください。使用されますと表皮の素材が異なるため、パッドを貼った部分が変色する場合があります。

一次救命処置（BLS）トレーニングセット

心肺蘇生法訓練ができるシンプル機構の簡易型模擬人体と、AED（CR Plus）実機の操作訓練ができるシミュレーターを組み合わせた経済的なセットです。

■JAMY-P・AEDトレーナーセット
52078 JAMY-P+CR-T ¥100,800（税別¥96,000）

＜付属品＞

■AEDトレーナー
・リモートコントローラ
・トレーナー用電極キット
・専用ソフトケース1個、他

■JAMY-P
・フェースマスク2枚（本体1枚セット済）
・ディスポ肺・気道部一式2セット（1セット本体組込済）
・キューマスク5個 ・収納バッグ1個

蘇生法教育人体モデル JAMYシリーズ

心肺蘇生法訓練に必要な機能だけを搭載した簡易モデル。
適正な気道確保時（頭部後屈顎先挙上法）や、胸骨圧迫の適正圧迫時をクリック音で確認できます。
人工呼吸時での呼気吹き込み時は、胸部の上がりが確認できます。

■JAMY-P
46960 ¥22,050（税別¥21,000）

表示器は模擬人体内に収納でき、準備の手間もかかりません。
電源は乾電池式で実習場所を選びません。（単1×8本）
※ 別売ACアダプタによる電源供給も可能です。
メンテナンス容易な内部構造。

ガイドライン
2005対応

■JAMY-Ⅳ DSP全身モデル
46030 ¥176,400（税別¥168,000）

表示器を備えた4才幼児の心肺蘇生法実習モデルです。
（気道内異物除去訓練機構内蔵）
電源は乾電池式で実習場所を選びません。（単3×8本）
※付属のACアダプタによる電源供給も可能です。

■蘇生法教育幼児モデル（4才幼児）
49279 JAMYⅡ-i ¥144,900（税別¥138,000）

表示器を備えた乳児の心肺蘇生法実習モデルです。
電源は乾電池式で実習場所を選びません。（単3×8本）
*付属のACアダプタによる電源供給も可能です。

■蘇生法教育乳児モデル（生後7～8ヵ月）
52111 JAMYⅡ-baby N ¥113,400（税別¥108,000）

関連商品

蘇生法教育人体モデル　JAMYシリーズ

実習動作記録を2種類の印刷形式で
プリントアウトできます。
（CPR曲線、CPR曲線+統計データ）

■JAMY-Ⅳ　RECO全身モデル
47631　￥357,000（税別￥340,000）

資料

AEDとは？

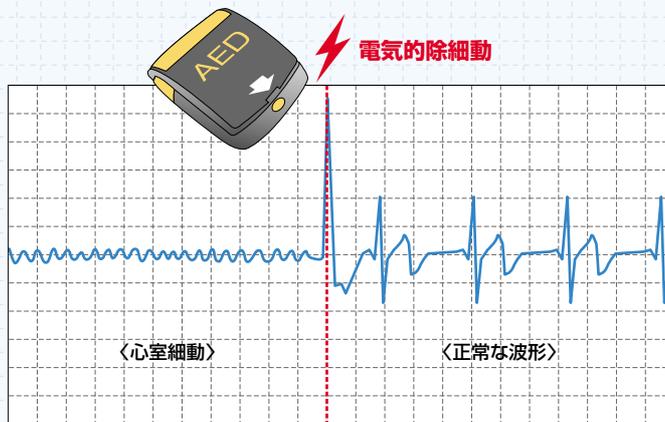
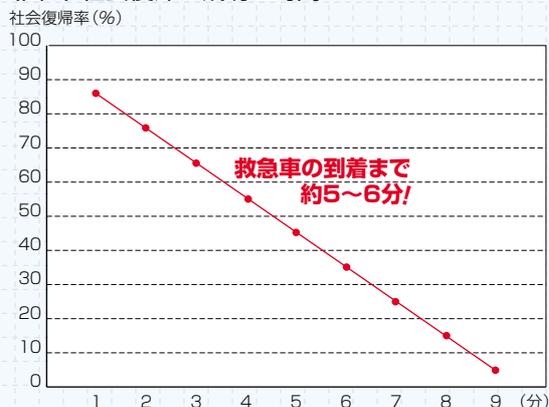
「AED」とは“Automated External Defibrillator”の頭文字をとったもので「自動体外式除細動器」とも呼ばれており、日本では平成16年7月から一般市民によるAED使用が認められて以来、公共施設を始め各自治体や学校等で年々加速度的に整備されています。

一般に「心臓麻痺」と呼ばれていた心停止の多くは、最初の段階では「心室細動」という心臓が痙攣を起こした状態から始まっています。心室細動を起こすと、心臓は血液を循環させるポンプの働きができなくなります。血液の循環がなくなると、4分以内に脳に障害が発生します。同時に、心臓自体も回復不能な状態に陥っていきます。心室細動を起こしてから除細動（心室細動を取り除くこと）を実施するまでの時間が1分遅れるごとに、社会復帰率は7～10%低下すると言われています（図1参照）。

〈図1〉社会復帰の成功と時間

電気的除細動

〈心室細動〉

〈正常な波形〉

呼吸停止・心停止した傷病者には、心肺蘇生（人工呼吸と胸骨圧迫）が必要です。しかし、心肺蘇生だけでは心室細動を起こしている心臓を正常に戻すことは困難です。現在、心室細動に対して最も有効なのが、電気ショックによる除細動です。

日本で病院外の心停止発生件数は、年間2～3万人と推定されています（※1）。

また、救急車が現場に到着するまでには約5～6分（全国平均）かかるといわれています。その場に居合わせた人々が如何に対応できるかで、救命率は大きく左右されます。AEDを用いて除細動を行う一般市民が増えれば、心停止から除細動実施までの時間を短縮でき、多くの心停止傷病者が除細動の恩恵を享受できることになります。

「救命の連鎖」とは「迅速な通報」「迅速な心肺蘇生」「迅速な除細動」「二次救命処置」の四つの輪のことで、二次救命処置開始までの時間が短いほど救命率は高くなり、逆に「救命の連鎖」のどれひとつが欠けても救命率の向上は望めません。

※1：非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用あり方検討会報告書より

人工呼吸用携帯マスク　Qマスク

■48893　手袋なし（10個組）　¥2,415（税別¥ 2,300）
■48892　手袋付　（10個組）　¥2,625（税別¥ 2,500）
■48891　手袋なし（50個組）　¥12,075（税別¥11,500）
■48890　手袋付　（50個組）　¥13,125（税別¥12,500）

■携帯用ハードケース付き「f」タイプ

■48883　キューマスクf／ダークグレー（10個組）　¥4,725（税別¥4,500）
■48884　キューマスクf／クリアブルー（10個組）　¥4,725（税別¥4,500）
■48880　キューマスクf／オレンジ（10個組）　¥4,725（税別¥4,500）

見直された「ガイドライン2005」

世界の各病院施設で独自に行われていた心肺蘇生法が初めて標準化され、世界統一基準「ガイドライン2000」として定められました。国内においてもこのガイドラインを参考にしつつ、日本の実情に合わせて日本版救急蘇生法ガイドラインが策定されました。

その後、一次救命においては一般市民によるAEDの使用が有効であるとの観点から見直され、2年前（2006）に、一般人や医療従事者が行う救急蘇生法の指針「ガイドライン2005」として示されました。このガイドラインの基本的な考え方として、

1 効果的な救急蘇生を行うには、できるだけ早期から十分な強さと十分な回数の胸骨圧迫が絶え間なく行われること

2 胸骨圧迫の効果を上げるために、心肺蘇生法開始の判断と手順、人工呼吸の吹き込み時間、胸骨圧迫と人工呼吸の比率、AEDによる連続ショック回数、ショック後の対応などが変更

具体的には、胸骨圧迫と人工呼吸の割合が従来の15:2から30:2に変更され、吹き込みの時間も従来の2秒から1秒に短縮されたことから、胸骨圧迫の重要性が強調されています。

また、これまで心肺停止者にAEDで電気ショックを与えても反応がない場合、3回まで連続して電気ショックを与えることができましたが、ガイドライン2005では、電気ショックを与えるのは1回だけで、電気ショック後に心電図解析を待たないですぐ胸骨圧迫を再開するように変更されました。30:2のリズムで胸骨圧迫と人工呼吸を2分間行った後、改めてAEDによる心電図の解析を行います（※）。

従来はAEDを最優先させてきましたが、ガイドライン2005では、一番重要なのは心肺蘇生法であり、その中でも胸骨圧迫が特に重要であるという認識に変わってきました。

ガイドライン2000

ガイドライン2005

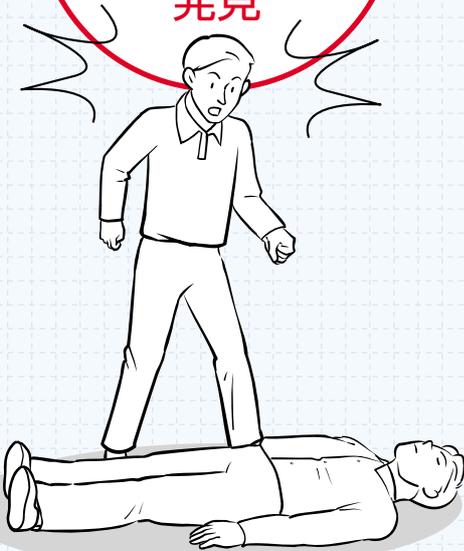
※新ガイドラインの詳細については、日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修の市民向けのテキスト『改訂3版・救急蘇生法の指針』をご参照ください。
※救急法については、日赤や消防署等の指導機関での受講をお勧めします。

ガイドライン2005での主な変更点

	ガイドライン2000	ガイドライン2005
胸骨圧迫と人工呼吸の割合	15:2	30:2
吹き込みの時間	2秒	1秒
電気ショックの回数	連続は3回まで	1回

資料

一次救命処置（BLS）の手順

STEP 1 傷病者発見

STEP 2 意識の確認と呼びかけ

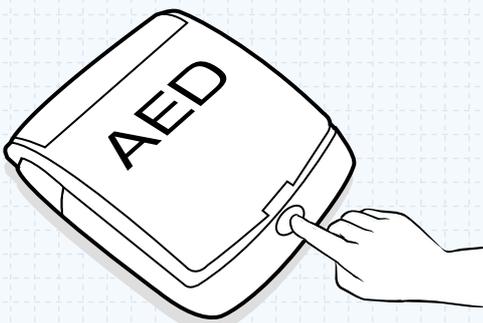
「大丈夫ですか？」や「もしもし」などと問いかけながら傷病者の肩を軽く叩きます。

STEP 3 119番通報とAED手配

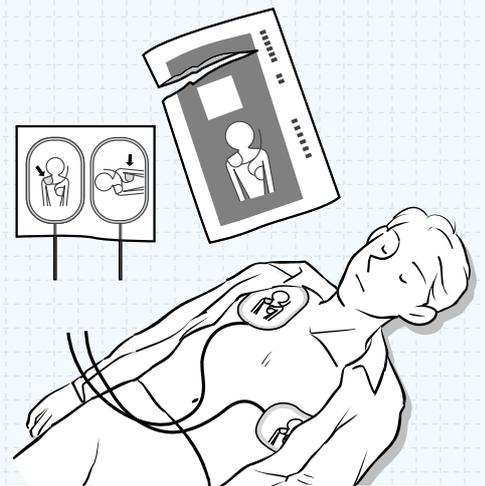
傷病者に意識がなく反応もない場合、「誰かきて！」と大声で人を集め、「あなたは119番に連絡してください」、別の人には「あなたはAEDを持ってきてください」と具体的に指示してください。

STEP 7 AED到着 ＜電源ON＞

AEDが到着したら電源を入れ音声メッセージに従います。

※救助者が一人だけの場合、AEDを使用するには心肺蘇生を中断せざるを得ません。

STEP 8 電極パッドを貼る

電極パッドを取り出し、傷病者の胸に貼り付けます。

※救助者が二人以上いる場合は、電極パッドを貼る間も心肺蘇生を続けます。

電極パッドは胸の右上（鎖骨下）と左下側（乳頭の外側下方）に貼付するのが標準的です。電極パッドは傷病者の肌にしっかり密着させます。電極パッドと肌の間に空気が入っていると電気がうまく伝わりません。
また、体毛の濃い傷病者に対してはAEDの効果が半減するばかりではなく、火傷の原因にもなります。本来貼り付ける位置に近い場所で胸毛の少ない場所があればそこへ貼り付けます。予備の電極パッドがあれば、予備の電極パッドで素早く胸毛ごと剥がしてから、新しい電極パッドを貼り直します。カミソリがある場合は、胸毛を剃ってから電極パッドを貼り付けます。

金属製のアクセサリーは火傷を起こす危険性があります。外せるものは外しましょう。外すのに手間取る場合は、電極パッドからアクセサリーをできるだけ遠ざけます。

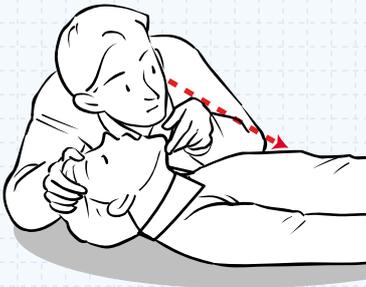
貼り薬（ニトログリセリン、鎮痛剤など）や湿布薬が電極パッドを貼り付ける位置に貼られている場合はまずこれを剥がし、残っている薬剤をふき取ってから電極パッドを貼り付けます。

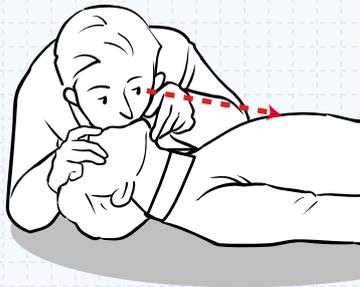
皮膚の下に心臓ペースメーカーや除細動器が埋め込まれている場合は、胸に硬いこぶのような出っ張りが見えます。電極パッド貼り付け位置にこの出っ張りがある場合、電極パッドを出っ張りから少なくとも2〜3cm離して貼り付けてください。

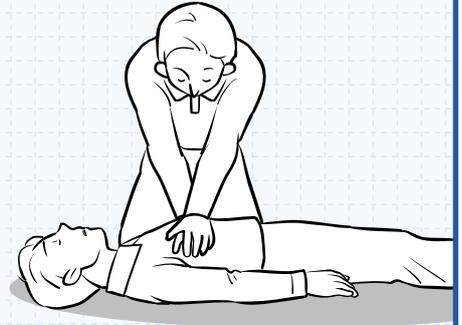
★本手順（イラスト図）は当社ホームページからダウンロードできます。

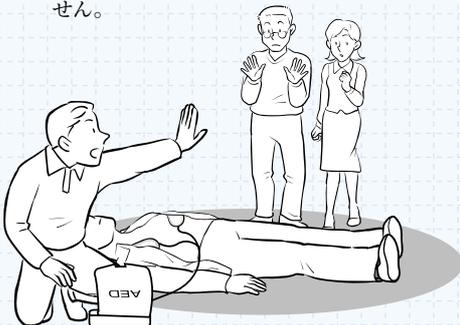
http://www.yagami-inc.co.jp

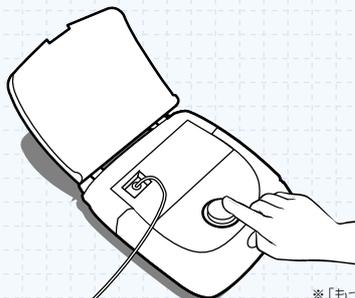
STEP 4 気道確保・呼吸確認

傷病者の気道を確保し、自分の耳を傷病者の口に近づけて息をしているかどうか確認します。傷病者の胸の動きや呼吸の音、傷病者の呼吸を自分の「ほほ」に感じて確認をしてください。

STEP 5 人工呼吸（省略可）

呼吸をしていない場合、人工呼吸を2回行います。息は傷病者の胸が上がるのが見てわかる程度の量を約1秒間かけて吹き込みます。

STEP 6 胸骨圧迫（心臓マッサージ）

2回の人工呼吸が終わったら、ただちに胸骨圧迫を開始します。乳頭と乳頭を結ぶ線の真ん中を目安に、胸が4～5cm程度沈む強さで圧迫します。また、1分間に100回のテンポで連続30回絶え間なく行います。

STEP 9 傷病者から離れる

電極パッドを正しく貼り付けると、機械が傷病者から離れるよう指示します。電気ショックを与える必要があるかどうかを判断するために、機械が自動的に心電図の解析を始めます。他の人が傷病者に触れていると正しい解析ができません。

STEP 10 ショック

心電図の解析が終わり電気ショックが必要と判断されれば、通電ボタンを押すように機械から指示が出ます。その指示に従って通電ボタンを押してください。この際も必ず他の人は傷病者から離れてください。直接傷病者に触れていると感電する危険があります。

STEP 11 胸骨圧迫（心臓マッサージ）

電気ショックの後は、すぐに心肺蘇生を再開します。再開して2分経過したら、機械が傷病者から離れるよう指示を出し、再度心電図の解析を始めます。以後、機械のメッセージに従ってください。

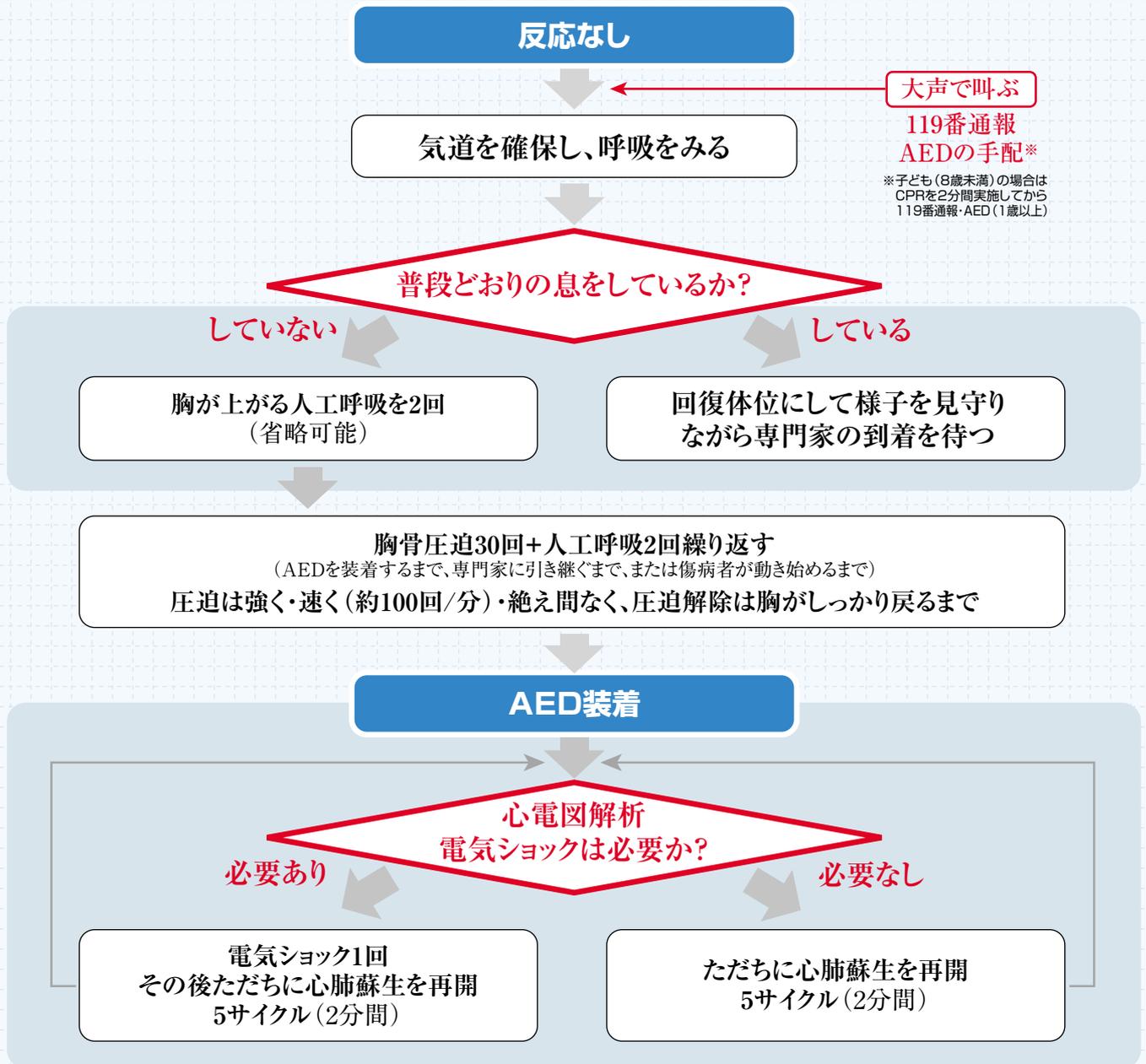
到着した救急隊に引き継ぐまでは、電極パッドを剥がさずAEDの電源も入れたままにしておきます。状況や実施した応急手当、AEDによる除細動を加えた回数などを伝えます。意識が戻ってもAEDの電源や電極パッドは剥がさず救急隊が到着するまで、そのままにしておいて下さい。

※「もっと知ってねAED」財団法人 日本救急医療財団/AED普及・啓発検討委員会より引用

資料

主に市民が行うためのBLS

反応なし

大声で叫ぶ
119番通報
AEDの手配※

※子ども（8歳未満）の場合は
CPRを2分間実施してから
119番通報・AED（1歳以上）

気道を確保し、呼吸をみる

普段どおりの息をしているか？

していない

胸が上がる人工呼吸を2回
（省略可能）

している

回復体位にして様子を見守り
ながら専門家の到着を待つ

胸骨圧迫30回＋人工呼吸2回繰り返す
（AEDを装着するまで、専門家に引き継ぐまで、または傷病者が動き始めるまで）
圧迫は強く・速く（約100回/分）・絶え間なく、圧迫解除は胸がしっかり戻るまで

AED装着

心電図解析
電気ショックは必要か？

必要あり

電気ショック1回
その後ただちに心肺蘇生を再開
5サイクル（2分間）

必要なし

ただちに心肺蘇生を再開
5サイクル（2分間）

～こんな時にも突然発生する「心停止」～

突然の心停止は、心臓に疾患のある人や心臓が弱っている人だけが起こすものではありません。普段は心臓に異常が認められない人でも、次のようなときに心停止を起こす危険性があります。

●つりをしていて冷たい川や海に落ちたとき

●風呂あがりにぬれたままでコンセントにつないだとき

●守備で胸にボールを受けたとき

●階段を無理に急いで上るとき

ココが知りたい AED

Q. AEDの電圧・電流はどれくらい?

A. AEDのエネルギー単位は「ジュール(J)」で表現され下記の計算式で求められます。

ジュール(J)＝電流(A)×電圧(V)×時間(秒)

電気ショックに使用される電圧は1,200〜2,000V程度、電流は30〜50A程度と言われています。

Q. AEDは誰でも使えますか?

A. 厚生労働省は平成16年7月「非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)の使用のあり方検討会」の報告に基づき、非医療従事者(一般市民)の使用が認められました。

Q. 傷病者の胸が濡れている場合、どうしたらいいですか?

A. 電気が体表の水を伝わって流れてしまうために、AEDの効果が不十分になってしまいます。乾いた布やタオルで胸を拭いてから電極パッドを貼り付けてください。

Q. 失敗したら責任が問われるのですか?

A. AEDの機械の指示に従えば、使用する方が失敗するという事は考えられません。
また、救急手当てについて一般人の責任を問わないことについては、法律的な面でも整理がついていますので、救急手当てを行ったことによって一般人が法律的な責任を問われる事はないと考えられます。

※心肺蘇生に係る救命処置についての免責規定について、民法及び刑法の整理は以下の通りになっています。

(1) 民法との関係については、救命処置は、基本的には義務のない第三者が他人に対して心肺蘇生法などを実施する関係になることから民法第3編第3章「事務管理」(第697条〜702条)に該当し、また、特に傷病者の身体に対する「急迫の危害」を逃れさせるために実施する関係になることから、第698条の「緊急事務管理」に該当すると考えられ、悪意または重過失が無ければ救急蘇生法の実施者が救急患者などから責任を問われることは無いとされています。(「交通事故現場における市民による応急手当促進方策委員会」報告書。総務庁長官官房交通安全対策室、平成6年)また、構造改革特区第3次提案において一般市民等によるAED使用を念頭に置いて「緊急状態にある人に救命処置を実施した人に対しては、それに関わる民事責任を免除する」との提案がされているが、これに対し、法務省の意見に基づいて、「要望の内容とするところは(除細動器を用いた場合も含め)、現行の、民法698条に基づく緊急事務管理に係る免責規定にて対応可能である」と回答しています。

(2) 刑法との関係については、「交通事故現場における市民による応急手当促進方策委員会報告書」において、「過失の有無は個々の具体的事例に応じて判断されるところ、救命手当実施者に要求される注意義務が尽くされていれば、過失犯は成立しない。またその注意義務の程度は、医師に要求される注意義務のそれより低いものであろう」とされています。

Q. 1歳以上8歳未満の小児にAEDを使ってもいいのですか?

A. 小児用パッドが備わっている場合は、小児用パッドを使って除細動します。小児用パッドが備わってない場合は、成人用パッドで慎重に代用してよいとされています。

Q. 「電気ショックは必要ありません」とはどういう意味ですか?

A. 除細動により心臓リズムが正常に戻った場合と、心電図の解析の結果、心臓リズムがAEDでは治せない場合が考えられます。AEDの音声メッセージに従いましょう。

※参考文献：『改訂3版・救急蘇生法の指針』(日本救急医療財団心肺蘇生法委員会監修)

●CR Plus 主な仕様

メッセージ	日本語による音声メッセージ
準備完了表示部(インディケータ)	正常(使用可)、チャージパック交換時期(緊急時使用可)、 内蔵バッテリー残量少(緊急時使用可)、 点検又は動作不良(使用不可)
メモリ	ECG(心電図モニター)、 他イベント等最低20分記録(前の患者は要約データ)
電源	チャージパック充電器(リチウム電池)
安全性	耐衝撃/MIL-STD-810E、Method516.4(※1) 耐振動/MIL-STD-810E、Method516.4 防　水/IEC60529/EN60529 IPX4(※2)
大きさ	約203(幅)×107(高さ)×241(奥行)mm
重さ	約2.0kg(充電器、電極含む)
構成	ライフパックCR Plus(除細動器)、CHARGE-PAK充電器<1つ>、 クイックリファレンスカード<1つ>
付属品	キャリングケース(ショルダーストラップ付)、 クイックパック電極(2セット)、 レスキューセット(CPR用マスク付)、 オリエンテーションDVD(1枚)、他

■除細動部

波形	二相性(ADAPTIV™テクノロジー採用)
出力エネルギーパターン	200J,300J,360J
充電時間	200J充電に9秒以下、360J充電まで15秒以下
除細動回数	内部バッテリーが満充電時 ●通常30回通電、又は、オン時間210分 ●最低20回通電、又は、オン時間140分

医療機器承認番号:21700BZY00251000
※ 1.MIL-STD:米国国防総省の軍事品に適用される性能試験の一種
※ 2.IEC規格:国際電気標準会議が定める電気機器の国際規格

日本赤十字社本社

CR Plusの導入設置は日本赤十字社をはじめ、
全国の学校施設、公共施設、商店街、企業・工場などの
一次救命処置(BLS)体制づくりに役立っています。

/ヤガミからのご提案/

AEDは卒業記念や寄贈としてもご採用頂いています。
下のようなAED収納ケース用名入れラベルをご用意できますので、お問い合わせください。

名入れラベル

〈仕 様〉
書　体：ゴシック体
カラー：黒１色
サイズ：19×6cm

弊社では安心してご使用いただけるよう
全国を網羅した代理店で、
販売からアフターサービスまで
責任をもってフルサポートいたします。

ホームページをご覧ください!

http://www.yagami-inc.co.jp

※ヤガミ、YAGAMIからでもヒットします。

総合トップページ

救急救命トップページ

救急救命トップページからはAEDの基礎知識をはじめ、一次救命処置の手順(ダウンロード可)、心肺蘇生法訓練用模擬人体、人工呼吸用マスクなどの情報ページへご案内します。

JQA-EM5721
●登録証番号：JQA-EM5721
●登録事業者：株式会社ヤガミ

※本パンフレットの表示価格は、平成20年7月現在のメーカー希望販売価格です。

For the next ?
株式会社ヤガミ

本　　　社　〒460-0002　名古屋市中区丸の内3丁目2番29号
TEL(052)951-9251　FAX(052)951-6454
東京支店　〒114-0024　東京都北区西ヶ原1丁目9番1号
TEL(03)3915-2221　FAX(03)3917-2221
大阪支店　〒547-0035　大阪市平野区西脇3丁目3番2号
TEL(06)6702-9991　FAX(06)6702-9522
福岡営業所　〒812-0007　福岡市博多区東比恵4丁目5番7号
TEL(092)471-1477　FAX(092)471-0237
名北商品センター　〒485-0001　愛知県小牧市久保一色東1丁目18番地

★ホームページ：http://www.yagami-inc.co.jp

★お問い合わせ　お申し込みは、下記の代理店へどうぞ

0807HES